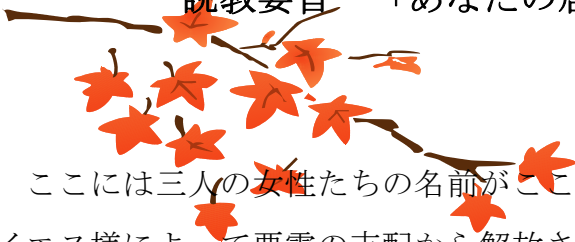



説教要旨 「あなたの居場所がここに」

ルカによる福音書 8章 1～3節




ここには三人の女性たちの名前がここに挙げられています。この三人ともがイエス様によって悪霊の支配から解放され、癒された体験を持っていたようです。しかしそのことがはっきり語られているのは「マグダラの女と呼ばれるマリア」、いわゆるマグダラのマリアのみです。彼女は、七つの悪霊を追い出していたのです。このマグダラのマリアを、直前の個所（7章36節以下）に出て来た、イエス様の足を涙で濡らし、髪の毛で拭い、香油を注いだ「罪深い女」と同一視する読み方が古くからありました。同一人物でなかったとしても、悪霊に憑かれていたマリアも「罪深い女」として蔑まれ、爪弾きにされていたことが想像できます。イエス様はそのマリアに憑いていた悪霊を追い出し、彼女の罪の赦しを宣言されたのです。しかし、イエス様のことを信じていない人、イエス様に人の罪を赦す権能があると認めない人々にとって、彼女はまた「罪深い女」のままなのです。イエスによる罪の赦しなど認めない。とってそれまで同様彼女を「罪深い女」として爪弾きにしたことでしょう。そのような人々の中には彼女の居場所がなかったのです。

イエス様によって罪赦された彼女の居場所は、イエス様を救い主だと信じる人々の中にしかないのです。そこには身分の高い階層の出身であり、教養もあったらう「クザの妻ヨハナ」のような人も共にいる。それが主イエスの群れなのです。



イエス様に従っていた群れの個々人のなかにも「差別意識」があったことでしょう。それまでユダヤ教の教えを受けて、あの人は「罪深い」者だとすり込まれてきたものが一朝一夕ですべて取り払われた考えにくい。だけれども彼女らは共にいることができるのです。自分の存在を認めてくださるイエス様に奉仕できる。イエス様や選ばれた使徒たちのように福音を告げ知らせることではないけれども、その活動を支える働き、それは食事の世話だったり、洗濯だったり、そうした雑務といった形ではあるけれども役に立てる。イエス様に必要とされる喜びに満たされて彼女たちは奉仕していたのです。



より深く知り、自分も神様を深く愛するのです。

(2018・10・21 説教者：稲垣真実)